学校番号	２１０

令和５年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「音楽Ⅲ 改訂版」　（教育出版）						
副教材等	The Basics of Music　（教育芸術社）、その他自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「歌うこと」、「楽器を演奏すること」、「音楽を聴くこと」、「音楽の仕組みを知ること」を年間通して学習します。
- 到達度は、実技テスト、確認テスト、ワークシートで評価します。
- 音楽の学習は自分自身が楽しみ、そして意欲的、積極的に取り組むことが大切です。練習を重ねてできるようになった演奏は聴く人の心に感動を与えます。また自身の心も満たされます。まずはそのような心に響く経験をしてください。そして生涯に渡って音楽を愛好する心情を育んでほしいと思います。
- 鑑賞では様々なジャンルの曲を聴き、音楽の特徴や文化的、歴史的背景について学習します。
  日本の伝統音楽の種類やそれぞれの特徴についても学習を深め、音楽文化についての幅広い知識と教養を身に付けてほしいと考えています。
- 音符や楽譜の仕組みを理解し、「楽譜が読める」「楽譜を書くことが出来る」ようになることを目指します。

2　学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	言葉と音楽①	【歌唱】 北秋の(日本語) Ave Maria(ドイツ語) Lascia chio pianga (イタリア語)	○	○	○		a:異なる３つの原語で書かれた曲を歌いながら、その表現内容や言葉の特徴に関心を持ち、それぞれの持ち味を生かした表現を工夫しつつ取り組んでいる。 b:言葉と旋律の関わり合いを知覚し、それぞれのもつ特質を感じ取って音楽表現に生かしている。 c:それぞれの曲の特徴を総合的に理解し表現するために必要な発声の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターの名曲に挑戦	【器楽】 禁じられた遊び (ギターソロ)	○	○	○		a:楽曲の構成および、この曲が主題曲として使われた映画の内容にも関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしている。 b:メロディの流れを感じ取り、伴奏の効果も考えながら表現を工夫している。 c:三連符、セーハなどこの曲を表現するために必要な技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボードに挑戦	【器楽】 ・ハ長調のスケール ・おもちゃのチャチャチャ ・ぶんぶんぶん	○	○	○		a:鍵盤楽器の奏法に関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしている。 b:キーボードで得られるさまざまな音色を使って、曲にふさわしい表現が出来るよう工夫している。 c:キーボードでメロディや和音を弾く技術を身につけている。:	観察 ワークシート 演奏の聴取
二学期	言葉と音楽②	【歌唱】 Hey Jude (ギター弾き語り)	○	○	○		a:英語のポピュラーソングの特徴に関心を持ち、表現意図を持って弾き語りの学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲を構成するさまざまな要素を知覚し、それらの働きによる世界観を感受しながらどのように歌うか工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

							c:ギターの伴奏の技能を身につけ、英語の発音や言葉の特徴などを総合的に理解して演奏している。	
	日本の音風景～秋～	【鑑賞】 箏曲「秋風の曲」 能「松風」 長唄「秋の色種」	○			○	a:日本の音楽と自然や風土との関わりや、日本の音楽の特質と美しさに関心を持って鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d:日本の楽器の持つ音色やリズムを知り、それらが生み出す独特の雰囲気を感じ取り、日本の伝統音楽に対する理解を深め、そのよさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
	四重奏に挑戦	【器楽】 キーボード ・カノン	○	○	○		a:クラス全員で一曲を仕上げることに主体的に取り組もうとしている。 b:自分のパートを責任を持って演奏をし、全体の音を聞きながら合わせて演奏すること出来ているか。 c:積極的に練習に取り組んでいるか。 c:掛け合いの箇所は他のパート演奏を意識して、流れるように演奏できている。	観察 演奏の聴取
	物語と音楽	【鑑賞・歌唱】 オペラ 「トゥーランドット」より Nessun dorma	○	○	○	○	a:オペラのアリアの表現内容に関心を持ち、表現意図を持って歌う学習に取り組んでいる。 b:イタリア・オペラ独特の雰囲気を感じ取り、物語の進行における音楽の効果を理解してどのように歌うか考えて取り組んでいる。 c:物語の中におけるこの曲の演奏効果を知り、それにふさわしい表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけている。 d:登場人物の声とオーケストラの関わりを知り、物語の進行における音楽の効果なども理解しながら聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

三学期	和楽器の魅力を感じよう	【和楽器の響き】 ・箏 「さくらさくら」 三重奏 「いつも何度でも」 ・三線 「海の声」	○	○	○		a:箏の音色に関心を持ち、様々な奏法を理解して演奏できているか。 B:他者との調和を意識しながら、表現できているか。 c:自発的に練習に取り組めているか。 d:三線について関心を持ち、各部名称を覚え、三線の歴史について自発的に学ぼうとしているか、三線の音色に関心を持ち、基礎的な奏法を理解して演奏できているか。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	卒業の歌を歌おう	【歌唱】 花は咲く(三部合唱) COSMOS(三部合唱)	○	○	○		a:まもなく迎える卒業にふさわしい歌を歌うことを通じて、残る高校生活より有意義なものとしようとする意識をもって取り組んでいる。 b:二部合唱のハーモニーをより深く感じ取って、楽曲の持つ世界観を表現しようとしている。 c:各自の声の持つ特質を知りつつ、全体のバランスがとれるような歌唱の技術を身につけている。	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について

a:　音楽への関心・意欲・態度　　b:　音楽表現の創意工夫

c:　音楽表現の技能　　d:　鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。